

# What?

# 前田が回答

## 合宿にまつわることで、一番うれしかったことは何ですか？

多くの参加者から「声」が届いたことです。たいてい、成果とは「スコアアップ」ですが、ほかにもあります。例えば、「耐久力がついたので、日々の学習量が増えた」という声が届いたことがあります。これは、その人にとって合宿が非日常的だったことを示唆（suggest）しています。そして、「当たり前の基準」が上がったのでしょね。

「1日10時間の勉強なんてありえね〜と思ったけど、なんとかなった。平日には時間がないと思っていたのは間違いだった。普段、無駄なことに多くの時間を使っていることに気づきました」とか「朝8時から夜中までリーディングの問題を解きまくったので、今は平日2時間で模試1セットは何でもないです」といった声が届いたこともあります。

## 合宿を通じて得られることを教えてください。

学習する体質です。「其の壱」の時から言っていたように、この合宿は短期的で小さい成果を得ることを目指していません。長期的に成果を出し続けることを目指しています。

そのためには、成果を出す人になることが大切です。「Doより先にBe」なのです。まず、大きい成果を得るに値する人になる。そうすれば、後から結果はついてきます。

## 参加者全員が変わるのですか。

いいえ、全員が化けるとは約束できません。想いが強い人ほど変わる可能性が高いでしょう。ボクらは魔術師ではありませんから、参加する皆さんを変えるとは約束しません。

**そもそも、人は「変わる」わけではありません。他人によって変えられるわけでもない。人は、自らの道を自らの手で創り、自らの意志で歩むことしかできない存在だと思えます。ボクらは、己を信じる人に、きっかけを作っているだけなのです。**

# Why?

# 濱崎が回答

## なぜ合宿なのですか。日帰りでもいいのでは？

僕が考えている理想の状態は、自分の持っているすべての経験と知識を参加者のみなさんにお伝えし、全員がその本質をきちんと理解していただくこと。

そして、その中から「これは良いことを知った、早速自分の学習に取り入れていこう」と思えることを、可能な限りたくさん提供することだと考えています。

人は誰も持てる時間、自由にできる時間には限りがあります。日帰りのセミナーを2日連続で開催するスタイルにしても良いのかもしれませんが、ですが、「合宿」というスタイルにこだわる理由は別にあるのです。

みなさんが最後に体験した「合宿」、それはいつのことでしょうか。

多くの方は高校や大学の部活やサークルなどで得た機会以来、「同じ志を持つ仲間」と共に、2〜3日同じ環境の下で過ごすことがある、という方はほとんどいらっしゃらないと思うのです。僕はこの「究極のゼミ合宿」を通じて、「自分を変える最大の機会」をみなさんに手にしてほしい、と願っているのです。

「自分を変えることができるのは自分だけ」だと僕は信じています。そして、そのきっかけを与えてくれるのは「アツイ志を持つ仲間たち」だけである、とも信じているんです。

この合宿を通じて、普通に暮らしているのであれば決して交わる機会を持つことのできないような仲間と知り合って欲しいのです。そして、そういう仲間たちから得る刺激を受け取るチャンスをできる限り手にしていただきたい。

TOEICの問題を解けるだけ解き、僕や前田先生からたくさんの知識やスキルを得るだけでなく、同じ時間と空間を共有する仲間たちからもたくさんのものを得ていただきたい。その特殊体験ができる場をつくり出したい。

1日ハードな学習に堪え、寝食を共にし、夢も現実も語り合う。そういう日帰りでは得難い非日常を体感する場を共有していただきたい。長くて濃い時間があるからこそ手に入れられるものがある。

合宿にこだわりがあるのは、そういう思い・信念があるからなのです。

## わざわざ韓国の本を使う理由を教えてください。

日本語が堪能な僕たちは、TOEICテストという「オールイングリッシュ」のテストの対策を

行う上でも、何かあればすぐに日本語に頼ろうとしてしまいます。韓国の本の良いところは、日本語が一切書かれていないこと、英語以外の部分（ハングルの部分）は理解不可能であるところにあります。韓国語に堪能な方には当てはまりませんが、テキストに書かれている英語以外頼りが無いという状況が、みなさんの英語に対するスタンスを理想的なもの（理解すべきこと・判断すべきことは、そこに書かれている英語のみである）にしてくれます。

## どのような人が参加すると特に効果的だと思いますか？

TOEIC 学習を続けていく中で孤独を感じている人。

自分の学習スタイルに絶えず疑問を感じている人。

このままでは死ねない、自分の人生を何とか自分で切り拓きたい人、そしてそのきっかけを手に入れるチャンスをつかみたい人。

■合宿参加前のベストスコア 560 点  
■合宿参加後のベストスコア 795 点  
熱血な先生方と本気の参加者の皆さまに  
パワーを頂いた、とても刺激的な2日間でした。  
勢いで3ヶ月連続受験し、ベストスコアを武器に  
転職しました。また参加したいです！

究極のゼミ合宿参加者 つぐみさん（会社員）



# Atami 熱海へ

「究極のゼミ合宿 其の八」は、夏休みの3連休に実施されます。7月19日～21日の2泊3日です。

どうも。前田です。これは「其の八」の案内文です。いきなり参加資格の話をしてします。

## 参加資格＝最新保有スコアが730点以上

今回の参加資格は、申し込みフォームを送信する時点での最新の保有スコアが730点以上であることです。上限を設定するかどうか検討した結果、公開テストであれIPテストであれ、995点以上の方の参加をお断りすることに決めました。当然ながら、受験経験がない方もご参加いただけません。

ボクたちがイメージする参加者は、次の要素を1つ以上満たす人々です。

参加要件は2番だけです。

1. TOEIC の受験や英語学習が好きな人
2. 現在の保有 TOEIC スコアが 730 点以上、995 点未満の方 ※必須条件
3. 「即効の 50 点アップ」より「1 年後の 300 点アップ」に価値を感じる人
4. あの ETS が作った問題を解いて、試験本番でニヤリとしたい人
5. 継続的に学習できるようになるためのきっかけが欲しい人
6. 精神を鍛えたい人
7. 行動至上主義の人間に生まれ変わりたい人
8. 己を律する力を高めたい人
9. facebook で偉人の言葉に「いいね！」をクリックするが、まったく行動しない人
10. TOEIC が好き過ぎて家庭や職場で孤立しかかっている人
11. そんな人を肯定的にとらえられる人
12. このリストがドンドン短くなっていることに気づいている人

## たぶん、30 時間くらいの勉強時間があります。

細かい時間割はまだ作られていませんが、だいたいこんな感じです。

Day-1 2014 年 7 月 19 日 13:00~24:00

Day-2 2014 年 7 月 20 日 7:00~24:00

Day-3 2014 年 7 月 21 日 7:00~17:00

これらの中に演習、講義、質疑応答などの「勉強時間」があります。合計すると、だいたい 30 時間くらいになりますから、大学の授業に換算すると 20 回分に相当するでしょう。ただ、過去の合宿では、夜のセッションの終了が 25 時になることが多かったので、実際の勉強時間がどれくらいになるかボクたちもまだ知りません。

## 会場は熱海市

熱海市を知っていますよね。静岡県にあります。その近くに、湯河原という街もあります。神奈川県にある有名温泉地。

「其の八」の会場は、JR 湯河原駅からバスで 15 分、熱海市にある施設を使います。研修室に引きこもり、TOEIC の勉強ばかりをするのにこれほど適したロケーションをほかに知りません。



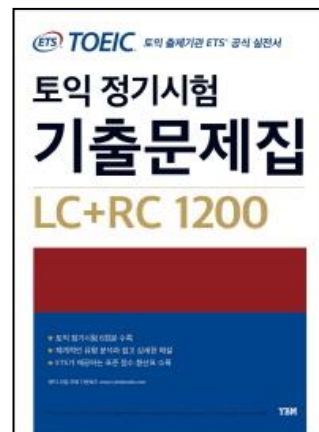
**この合宿は ETS が認可したものではありません。**

**この教材は ETS が作った TOEIC そのものです。**

これは過去問が詰まった問題集です。ETS が作成した公開テストそのもの。日本では発売されていません（アマゾンで買おうと思えば買えるようですが、やや高いので推奨はしません）。

「其の八」では、Test 1 から Test 4 までを使う予定です。もし、この本をすでに持っていたとしても、まだ取り組んでいないのであれば参加していただいて結構です。

この本は本家本元の ETS が作ったものですので、本番に出そうな素材がギッシリ詰まっています。ボクはこれまでに問題作成者としても活動してきましたが、はっきり言ってこの本と同じクオリティの練習問題を作ることができたら、国内無敵の教材作成者になれると断言できます。



解説がハングルで書かれてあるので、合宿中も合宿後も英語だけ読んで聞いて ETS クオリティに浸ることになります。合宿現場で本書を手にするのを想定しますが、すでにお持ちになっていても、参加していただくのは問題ありません（その場合は教材費を差し引きます）。

教材費は 2,100 円に設定してありますが、購入ルートによっては、もっと高く買えます。どうしても「自己手配」したい場合は、それでも OK です。申込時に申告していただきます。

**今回は、新しいことをいろいろやります。**

3 日間で、だいたい 30 時間の学習時間を用意しますので、いろいろできます。ただ今、関係者と意見交換しながらコンテンツを決めているところです。これまでに一度も合宿でやったことがないアクティビティも最低 2 つは実施することに決まっています。

静かに解答していただく時間と、解説講義に質疑応答。解答スキルを学んでいただく時間、悩みをシェアする時間と解決策を考える時間。短期的、長期的に力を伸ばすための学習法を伝える時間。合宿後も学習を続けていただくためのワークなど……。ほかの場所では味わえない、そして、有益な時間を提供いたします。

**キーワードは「リミッターを外す」**

これまでずっとお伝えてしてきた通り、「リミッターを外す」ことが、「究極のゼミ合宿」のキーワードです。

普段の学習では決してやらないであろうことや、多くの人が避けようとしたり、ビビってしまったりすることに挑戦。それにより、いつの間にか可能性に制限をかけているリミッターを外します。リミッターを外す最強の方法は「体験」です。無理っぽいことでも、とにかく体験する。そうすれば「これくらいは当たり前」と思うようになるものです。あなたが持っているリミッターを外せるのは、あなただけです。



写真：「究極のゼミ合宿」より

## 教官はいつもと同じ。

ボク、前田と濱崎教官と一緒にやります。今から数年前に、あることをきっかけに、学習量を増やしまくり、目指す結果を手にした代表的な人物。『TOEIC テスト完全ガイド』の辛口ランキングで1位となった『新 TOEIC TEST 全力特急 絶対ハイスコア』の著者でありつつ、編集者&大学講師・企業研修講師として活躍しています。



# 濱崎潤之輔

～かつて何が何でも 900 点が欲しかった男～

毎月 20～40 冊以上の TOEIC 対策本を使った勉強に明け暮れたものの、挙句の果てにスコアダウン。TOEIC 学習にすべてを捧げていたのに決して報われることの無かった日々を過ごす。その後しばらくは 800 点台前半のカベをブチ壊せずにもがき続けていた……

偶然知り合ったヒロ前田氏からアドバイスを受け、その年の秋に学習スタイルを根本から改革、約半年後、3 月実施の TOEIC 公開テストにおいて 100 点以上のスコアアップ、970 点を取得。

それ以来、革命的な成果を出した「3 回チャレンジ法」の実践を TOEIC の問題集・参考書はもちろんのこと、いかなる英語関連書籍、そして一般書を読む際にも適用し続けている。TOEIC を愛するアツい思いは消えず、その後は 990 点取得だけを目指して受験し続け、現在は 990 点を 20 回以上取得。

かつては単語集の見出し語・10,000 語以上をすべてパソコンに入力する、同じ問題集を 10 回以上も徹底的に復習するなど、従来の TOEIC 学習の常識をぶち壊す行動が、世の学習者のみならず指導者たちを震撼させた。あの神崎正哉氏に「日本で一番 TOEIC の勉強をやっている」と言わしめた男。

「自分以外全てが師」であるという信念から、あらゆるレベルの学習者、そして、TOEIC 講師・英語講師たちとの交流にも積極的で「いかに自分の努力が足りていないのか」を再認識し続けることにより自らを律し鼓舞している。

高嶺の花をつかむことに拘り続け、今もなお孤高の存在を目指す求道者、ここにあり。

ブログ：独学で TOEIC990 点突破を目指す！  
好きな言葉：「才能とは自分自身を信じる力だ」  
趣味：総合格闘技、TOEIC を愛する人たちとの交流

\*この情報は 2014 年 6 月現在のものです



書いたのは本人です。



# ヒロ前田

## ～TOEIC で全国制覇を目指す男～

高知市生まれの国産だが、その名前から、ハワイ生まれのプロレスラーだと勘違いされることがある。幼少期に関西人として過ごし、関西弁のネイティブスピーカーになったが、語彙力不足のまま福井県に引っ越す。高校を卒業するまで福井で過ごす。進学のため、やはり語彙力不足のまま関西に戻る。大学では **ESS** に所属し、英語学習と英語ディベートに明け暮れる。2年時に **TOEIC** を初受験して **710** 点。その当時、英語ディベートの全国大会でチーム・個人ともに **3** 位を受賞した実績がある。

2001年、勤務していたアルクでロバート・ヒルキ氏を講師にした「**TOEIC** テスト **730** 点突破ゼミ」をプロデュース。それが大ヒットし、単行本『直前の技術』（2004年版）が生まれるきっかけを作る。ヒルキ氏の神がかり的な授業とトーク術を見ているうちに「自分でもできる」と思い上がり、2003年から **TOEIC** 対策指導、2005年からは指導者育成を始める。

2005年秋に刊行した初の書籍の表紙に著者名を入れる際に「どうせ最初で最後だから」という理由で、ヒロ前田というペンネームが他人により決定され、校了直前だったため拒否する余裕もなくデビューを果たす。2作目の『直前の技術』（2006年版）がヒット。以降、「オンリーワンになる」という方針のもとで、数多くの「普通じゃない」本を手がける。

2007年に独立。同年秋、メルマガ読者を対象に横浜で実施したイベントで濱崎氏と出会い、イベント後に居酒屋で5時間語り合う。それ以来、多くのプロジェクトで協働。

オンリーワン戦略の一環として、**TOEIC** 公開テストを全都道府県で受験することを目指し、実際に行動し続けている。2014年6月の時点で28都道府県を制覇。従来の**TOEIC** 受験の常識をぶち壊す行動が、世の常識人を笑わせている。

ブログ：**TOEIC** テスト対策 疑問ひたすら100連発

好きな言葉：「世の人は我を何とも言わば言え 我が成す事は我のみぞ知る」

趣味：総合格闘技、将棋、誰も取らない**TOEIC** スコアを取ること

TOEIC スコア					
実施日	2014年5月25日				
Listening	5	Reading	15	Total	20
	<a href="#">アドバイス</a>		<a href="#">アドバイス</a>		<a href="#">アドバイス</a>
第190回公開テスト 正答数 L:1問 R:4問					

\* この情報は2014年6月現在のものです



書いたのは本人です。

## この金額で実施するのはこれが最後です。

消費税が 8 パーセントに上がったので、1泊2日の参加費は 39,900 円から 41,040 円に上がります。これは仕方ありません。

今回は 2 泊ですから 1 人あたり経費が 1 泊 3 食分増えます。さらに、Day 2 は朝から晩まで授業ばかりなので、その授業料も発生します。

ですから、2 万円ほど上げるのが妥当ですが、「其の八」は夏休み特別編。39,900 円です。つまり、1 泊 3 食 + 2 日目の授業を無料で追加提供しつつ、消費税 UP もブッ飛ばします。

夏休み。いきなり訪れる 3 連休に、ボクたちと熱海で TOEIC まみれ、英語まみれになりませんか。



日時：2014 年 7 月 19 日（金）13 時 ~ 21 日（月）17 時 \*初日の集合は 12:30 前後

会場：静岡県熱海市（湯河原駅の近く / 詳細は申込者にお伝えします）

定員：30 名（全員シングルルーム）

教官：濱崎潤之輔、ヒロ前田

費用：参加費 39,900 円 + 教材費 2,100 円 = 42,000 円（税込 / 2 泊 6 食付き）

\*教材が「自己手配」の場合は 39,900 円（税込）です。（ご購入は 1 人 1 冊まで）

初日は 12:30 に湯河原駅で集合し、バスで現地に向かう予定です。2 泊 6 食です。例外はありません。宿泊が無理なら「合宿」ではなくなるので、参加できません。

教材は初日に配布しますので、事前購入は不要です。

## ご注意ください。

部屋と食事の確保、キャンセル規定などの都合で、**申込締切日は 2014 年 6 月 29 日（日）の 24 時**です。その前に空席がなくなれば締め切られますが、空席があれば二次募集を行います。

過去の合宿では、ほぼ毎回「キャンセル待ち」が発生していましたので、二次募集を行う可能性は高くはないと思われます。

ご入金の方法はメールでお知らせします。ご入金後のキャンセルには取消料が発生しますので、確実に参加できることを確認してからお申し込みください。

「申し込むだけ申し込んで、後でキャンセル」というケースがたまにありますが、それが原因で、本当に参加したい人が参加できないことがあります。やむを得ない事情がある場合は仕方ないのですが、本当に参加可能かどうか確認してからお申し込みください。

## いつも通りの特典を継続します。

### 質疑応答

合宿で使用する本に収録されているアイテム（練習問題）について、理解できないことがあれば、ボクたちに質問していただければ、必ず回答します。

質問には個別にメールで対応します。ボクたちは、通常、このような役務サービスを提供していませんが、解説が韓国語で書かれた本を指定する以上は、質問を受け付けるのは自分たちの責任範囲だと思い、個別対応することにしました。ただ、無期限で受け付けるわけにはいかないので、**2014年12月31日**まで有効とします。（ボクたちは翻訳者ではありませんから、「訳」を提供することはできません）

### 濱崎&前田セレクション文法・語彙チェックテスト100問

使用するテキストを利用して、教官がパート5とパート6形式のオリジナル練習問題を100問作ります。当たり前ですが、元ネタのクオリティはETSによって保証されています。そこに我々が独自の視点を加えて、あなたにとって間違いなく有益な練習問題を作って提供します。提供時期を意図的に合宿開催時期からズラシ（8月に送付予定）、継続学習を促します。

### 「究極のゼミ合宿」メンバー専用SNSグループの利用権

facebookに、合宿参加者専用の交流スペースがあり、現在79名が利用しています。学習記録を書く人、スコア報告をする人、雑談を書く人、いろいろです。あくまでも「特典」ですから、利用は必須ではありません。facebookを使っていないのであれば、無理にアカウントを登録していただく必要はありません。



## 申込方法

「TOEIC テスト究極のゼミ合宿 其の八」への参加を希望される方は、この[フォーム](#)を使ってください。自動返信でメールが送られ、参加費の入金方法が伝えられます。

リンクが機能しない場合 → <https://ws.formzu.net/dist/S27993904/>

(スマートフォンからも申込可能ですが PC で読めるメールアドレスをご登録ください)

## 合宿参加者の声

下山智裕さん（会社員）

くどのような方に参加を推薦できますか？

地方に住んでいる方。語学学校で長期休みのときに集中講義を行っているところもありますが、おそらく、この合宿のように泊まり込みでかつリーズナブルな価格でやっているところはないと思います。

kohさん（会社員）

■合宿参加前のベストスコア 655点

■合宿参加後のベストスコア 720点

身近にはいないTOEICに熱心な方々、熱心な講師と時間を共有できたのは強烈な刺激でした。その後も色々交流させて頂いて、諦めず続けよう、という思いを維持させてもらっています。

ようちゃん（主婦）

私は一回だけの参加ですが、解説が日本語で書かれていない韓国過去問はすごく良かったと思っています。自分で語句や語法を調べるし、英辞郎で他の例文を読むきっかけにもなります。

Yocchiさん (OL)

合宿に参加する前は、2日間も勉強詰めになるなんて無理！と思っていましたが、実際に参加してみるとあっという間に終わってしまいました。勉強せざるを得ない環境に自分を追い込むのも良い方法だと思い、合宿後は有料の自習室などを活用し、勉強を習慣化することができるようになりました。

OJiMさん(トイーッカー)

- 合宿参加前のベストスコア 975点
- 合宿参加後のベストスコア 990点

この合宿では、講師からだけでなく、学習者から学べる事がたくさんあります。学習態度、向上心、謙虚さ、等々。本では学べない事ばかりです。

地方学習者K

- 合宿参加前のベストスコア 915点
- 合宿参加後のベストスコア 960点

合宿参加前に一度だけマグレでTOEIC900を取得していましたが、大体800半ば～800後半で推移していました。

合宿に参加し、解き方のコツ、根性をつけたことでTOEIC学習に対する迷いが無くなり、安定して900台をとれるようになりました。もうマグレとは言わせません！

<どのような方に参加を推薦できますか>

自分の勉強方法に悩んでいる方、普段は一人黙々と勉強している方、TOEIC学習自体に迷いを持っている方、何より勉強に対する根性をつけたい方にお薦めです。

TOEICの勉強を頑張っているのは自分だけではない！と実感できます。これは後々まで役に立ちます。

# 追伸

僕はこれまでも、そしてこれからもずっと、TOEIC が存在する限り、TOEIC のスコアを必要とする人がいる限り、命を懸けてずっと付き合っていく覚悟ができています。

指導を始めてから出会ってきた仲間たち。

その多くは TOEIC テストのスコアを会社の昇進・昇格の基準や大学の進級・卒業要件として求められることにより、人生の岐路に立たされることとなった方々。

そういう人たちと共に過ごした日々、そして状況を打破するために試行錯誤する中で手に入れた知恵や方法論。

この合宿では、その知恵と方法論・劇的なスコアアップのコアとなる部分を、一切の出し惜しみなくお伝えしたいと考えています。

公開テストを毎回必ず受験し、いかに効率的で効果的な学習を行えば良いのか、結果がきちんと出るのか.....そのことだけを日々考え・実践し、僕はこの数年間生きてきました。

その結晶のすべてをお伝えしたいと思います。

TOEIC テストは決して甘い試験ではありません。

一朝一夕で何とかなるような類のテストではないことは事実です。

それでも短期間に集中し、ポイントをキッチリと押さえた学習を続ければ、思った以上に早く「望んでいた結果」を手に入れることが可能です。

「まだ早すぎる」「もう遅すぎる」ということは決してありません。

大切なこと、それは今日から新しい自分に生まれ変わり、人生を懸けて、命を懸けてやれるのかどうか、ただそれだけです。

TOEIC テストは「努力する人を決して裏切らない」最高のテストです。

結果が嘘を 200%つかない最高のテストです。

短期間で結果を出したいのであれば、真摯な努力を凝縮すればいい。

そのとき最後に頼れるのは自分自身だけです。

僕や前田先生が、あなたの代わりに TOEIC を受験することはできません。

なぜなら、僕たちも命ある限り TOEIC を受験し続けるからです。

僕たちには覚悟があります。

TOEIC に人生を捧げているという自負があります。

そういう僕たちから、得られることを得られるだけ持って行ってください。

合宿参加者は人生の同志です、そして TOEIC とあなたが向き合い続ける限り、たった一人で TOEIC に自信を持って立ち向かっていくことができるよう応援し続けます。

職種業種問わず、老若男女問わず、TOEIC の名のもとに集い、切磋琢磨しましょう。

2014 年 6 月 18 日 濱崎潤之輔